

Serum levels of Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 binding protein reflect the severity of chronic pancreatitis

藤山, 隆

<https://hdl.handle.net/2324/1931826>

出版情報：九州大学, 2017, 博士（医学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）



氏 名：藤山 隆

論 文 名：Serum levels of *Wisteria floribunda* agglutinin-positive Mac-2 binding protein reflect the severity of chronic pancreatitis

(血清 *Wisteria floribunda* agglutinin-positive Mac-2 binding protein 値は慢性膵炎の重症度を反映する)

区 分：甲

論 文 内 容 の 要 旨

【目的】慢性膵炎のマーカーとしての血清 WFA⁺-M2BP 値の有用性を評価する.

【方法】内視鏡的逆行性胆道膵管造影を施行した慢性膵炎患者 74 症例および、健常者 30 例の血清 WFA⁺-M2BP 値を、糖鎖免疫アッセイを用いて測定した. さらに血清 WFA⁺-M2BP 値と Cambridge 分類の関連性を評価した.

【結果】血清 WFA⁺-M2BP 値は健常者 (0.34 ± 0.25) と比較し慢性膵炎患者 (0.64 ± 0.28 ; $P < 0.001$) で有意に高かった. Cambridge 分類の mild, moderate, marked に分類された慢性膵炎患者の血清 WFA⁺-M2BP 値 (カットオフインデックスとして表現) は, この重症度分類に従い段階的な上昇を認めた (各々 0.44, 0.63, 0.87). Receiver operating characteristic (ROC) 曲線分析の結果, Cut-off 値は mild, moderate, marked で 0.34, 0.59, 0.61 であり, ROC 曲線下面積, 感度, 特異度は, mild 以上ではそれぞれ 0.829, 91.9%, 63.3%, moderate 以上ではそれぞれ 0.891, 81.8%, 85.0%, marked ではそれぞれ 0.888, 92.0%, 74.7%であった. 多変量解析では, 血清 WFA⁺-M2BP が独立して moderate 以上および marked の慢性膵炎と関連していることが示された.

【結論】血清 WFA⁺-M2BP 値は慢性膵炎の重症度を評価する上で有用である.